

第16回 昭和の森親子田んぼ教室

稻刈り

山下 美佐子（東金市）

日 時：2017年9月16日（土）9:30～12:00 天気：曇り

参加者：大人16名 子ども15名 合計 31名

担当指導員：佐野由輝 山田益弘 小林義和 山下美佐子 岡田富子

昭和の森ビオトープの会：西川章 千葉市緑公園緑地事務所：高瀬氏

親子田んぼ教室は、平成24年に「親子で田んぼの中に入り、米作りを実体験し、自然の大切さ、農業の大切さ、生き物の命のつながりに気づく」を目的に始動しました。参加は、田植え・草取り・稻刈りの3回セットで申し込んでもらっています。今年で6年目ですが、毎年たくさんの親子が参加し、米作りと自然観察を楽しんでいます。

今年の稻刈り日は、台風接近で生憎の天気でしたが、ほぼ全員参加で皆さんやる気満々。参加者のほとんどは稻刈りを未体験。指導員にイネの刈り方を真剣に聞いて、いざ田んぼの中へ。イネ刈り作業は、子どもが刈取ったイネをお母さんが受け取り、そのイネはお父さんが束ねる家族の共同作業です。田んぼはぬかるんでいて「足が抜けないよー」とあちこちから声が聞こえてきます。コバネイナゴや卵を背負ったハシリグモ・ニホンアカガエル等が飛びし、びっくりしたり、喜んだり。イネ刈り作業は、すぐにコツをつかみ、サクッサクッと、アッと言う間に終了。皆さん泥だらけになっていて、お互いの姿を見て笑いあっていました。次は、「太陽の陽ざしでもっとおいしくなれ」と、束ねたイネの「おだかけ」作業を全員でやり終えると、次はいよいよ自然観察です。メダカ・ドジョウ・ヤゴ・カワニナ・ヒメゲンゴロウ・コバネイナゴ・クビキリギス・オンブバッタ・カマキリの種類・アカトンボの種類・カナヘビの赤ちゃんなど、たくさんの生き物を捕獲して観察しました。「コバネイナゴはイネの葉っぱを食べているんだよ」、「田んぼのクモは、イネの害虫を食べてくれているんだね」等、捕まえた田んぼの生き物たちのつながりを皆で考えました。あっという間に終了時間になり、「親子で楽しかったー」「また参加したい」「とても貴重な体験ができた」などの感想をもらい、今年度の親子田んぼ教室「稻刈り」は終了しました。

